

名称	25.「 <sup>サイ</sup> 菜」												
サービス内容	就労継続支援B型												
所在地	〒512-0921 四日市市尾平町1956-9												
電話	059-336-6610 Fax 0594-48-6527												
運営主体	社会福祉法人耕逸山児童福祉協会												
公共交通機関・最寄駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近鉄伊勢松本駅から約700m・伊勢川島から約1.5km</li> <li>●バス(三重交通):大井手停留所から約100m</li> <li>●バス(三重交通):青葉町停留所から約350m</li> </ul>												
時間	9:00 ~ 15:00	昼食	弁当持参 ※外部注文可										
休日	日・年末年始	メールアドレス	sai-kouitsuzan@purple.plala.or.jp										
利用者数	定員 20名 登録者数 26名	指導員数	男 5名 女 2名										
送迎バスの有無	あり	実習の可否	可										
行事等	クリスマス会等												
作業内容・日課等													
＜水耕栽培による葉物野菜の生産と加工・販売＞													
<p>主な作業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>生産作業</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>種付：直径2～3ミリの種を種付け用スポンジ(3センチ四方の切り込みあり)に植える</li> <li>移植：スポンジから切り離し、移植ケースに植え替え、5～10センチまで育てる</li> <li>定植：移植ケースから、栽培ベッド(長さ36メートル・高さ約1mの流水ベッド)のパネルに植え替える</li> <li>収穫：栽培ベッドから野菜を収穫し、出荷作業所へ運ぶ</li> </ul> </li> <li>●<u>出荷作業</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>根切：根切りを行い商品として整える</li> <li>計量：長さを揃えて、量り機器で計量を行う(1袋150g～200g)</li> <li>袋詰：野菜を袋に詰め、袋を閉じて生産者シールを貼る</li> <li>箱詰：袋閉じた商品を出荷用の箱に詰め、冷蔵庫で保管する</li> </ul> </li> <li>●<u>その他(管理作業等)</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>パネル洗浄、栽培ベッド洗浄など</li> </ul> </li> </ul>													
1日のスケジュール													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">9:00～ ラジオ体操・朝礼</td> <td style="width: 50%;">11:45～ 昼食(60分間)</td> </tr> <tr> <td>9:15～ 作業開始</td> <td>12:45～ 作業開始</td> </tr> <tr> <td>10:00～ 休憩(10分間)</td> <td>13:30～ 休憩(10分間)</td> </tr> <tr> <td>11:00～ 休憩(10分間)</td> <td>14:00～ 休憩(10分間)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14:30～ 終礼→帰宅</td> </tr> </table>				9:00～ ラジオ体操・朝礼	11:45～ 昼食(60分間)	9:15～ 作業開始	12:45～ 作業開始	10:00～ 休憩(10分間)	13:30～ 休憩(10分間)	11:00～ 休憩(10分間)	14:00～ 休憩(10分間)		14:30～ 終礼→帰宅
9:00～ ラジオ体操・朝礼	11:45～ 昼食(60分間)												
9:15～ 作業開始	12:45～ 作業開始												
10:00～ 休憩(10分間)	13:30～ 休憩(10分間)												
11:00～ 休憩(10分間)	14:00～ 休憩(10分間)												
	14:30～ 終礼→帰宅												
備考													
<p>事業の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水耕栽培業務は作業メニューが多いため、各々の適合性・可能性に応じた作業を選択することができる。</li> <li>・「ものづくり」を通じ、継続性・協調性・連携力・会話力・理解力等を身につけることができる。</li> <li>・また、機械ではできない、人に求められる作業を担っていることにより、一般就労への可能性が高くなる。</li> </ul>													

